

宮本 大

インバウンドアナリスト



@localized_dai

- ・立命館大学卒
- ・SMBCフレンド証券(現SMBC日興証券)を経てかんぽ生命保険入社
- ・外国債券・為替ポートフォリオマネージメント、日本株アナリスト兼株式ポートフォリオマネージメントを担当
- ・米国College of William & Mary School of Business 卒(MBA)
- ・Japan Localized設立後、訪日観光客向けへ体験ツアーの企画運営、インバウンド市場の研究業務に従事
- ・きんざい、訪日ラボ、BBC、CNBC、ラジオNIKKEIなど多数のメディアの出演
- ・日本証券アナリスト協会認定アナリスト、FP2級技能士

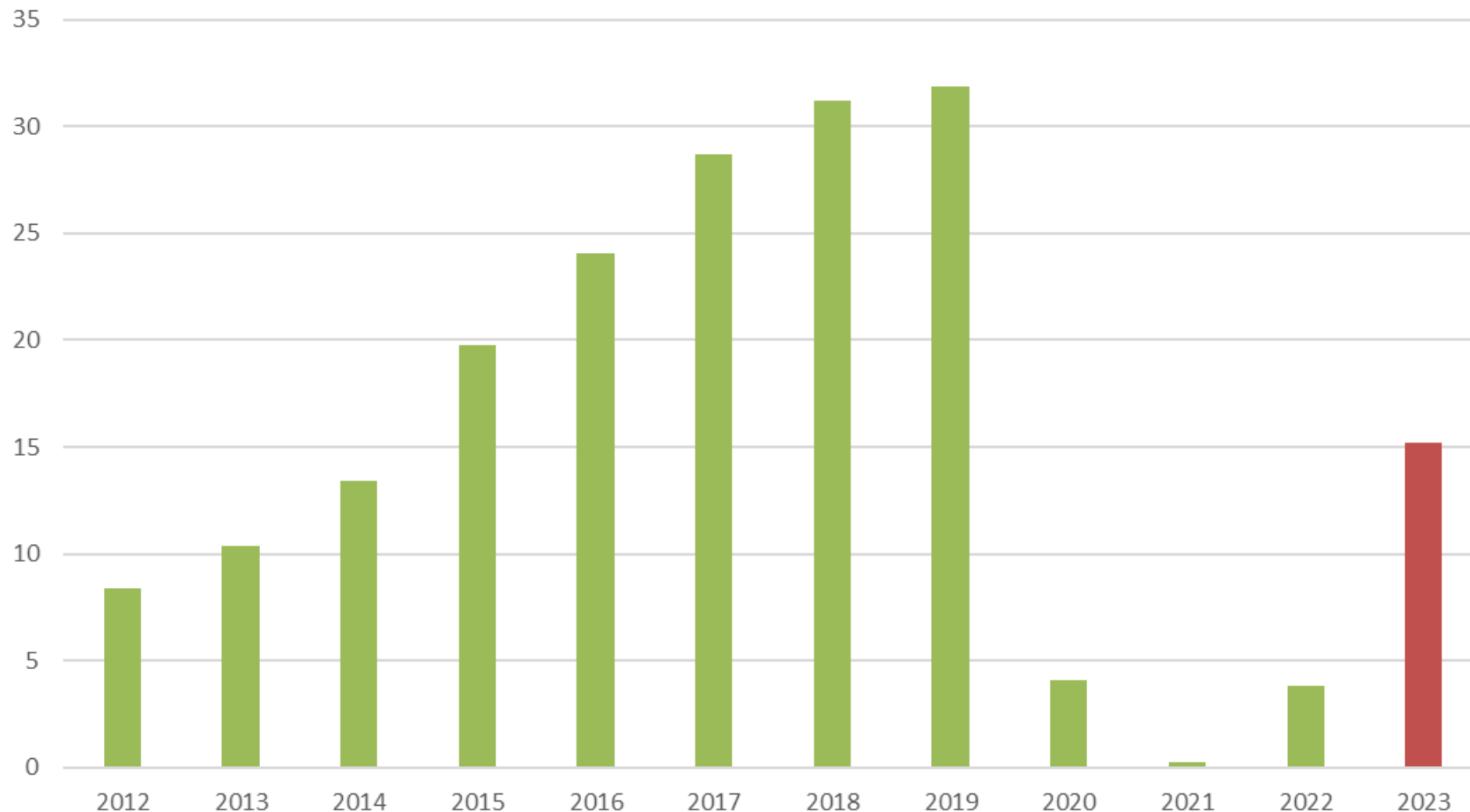


世界を見ても、コロナ前の水準まで回復をしていない(2023年7月時点)



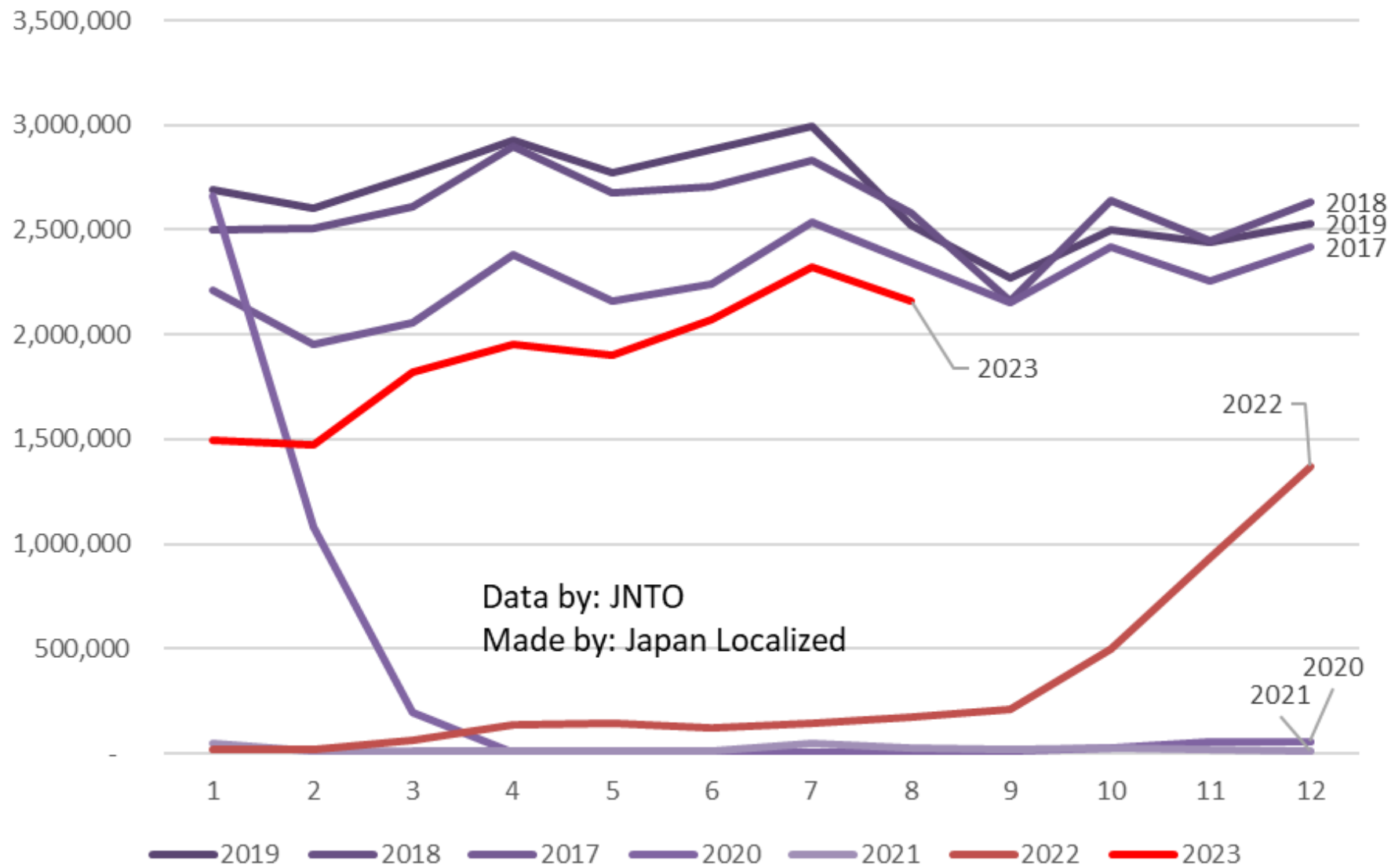
訪日客数推移※2023年は8月まで累計

百万人

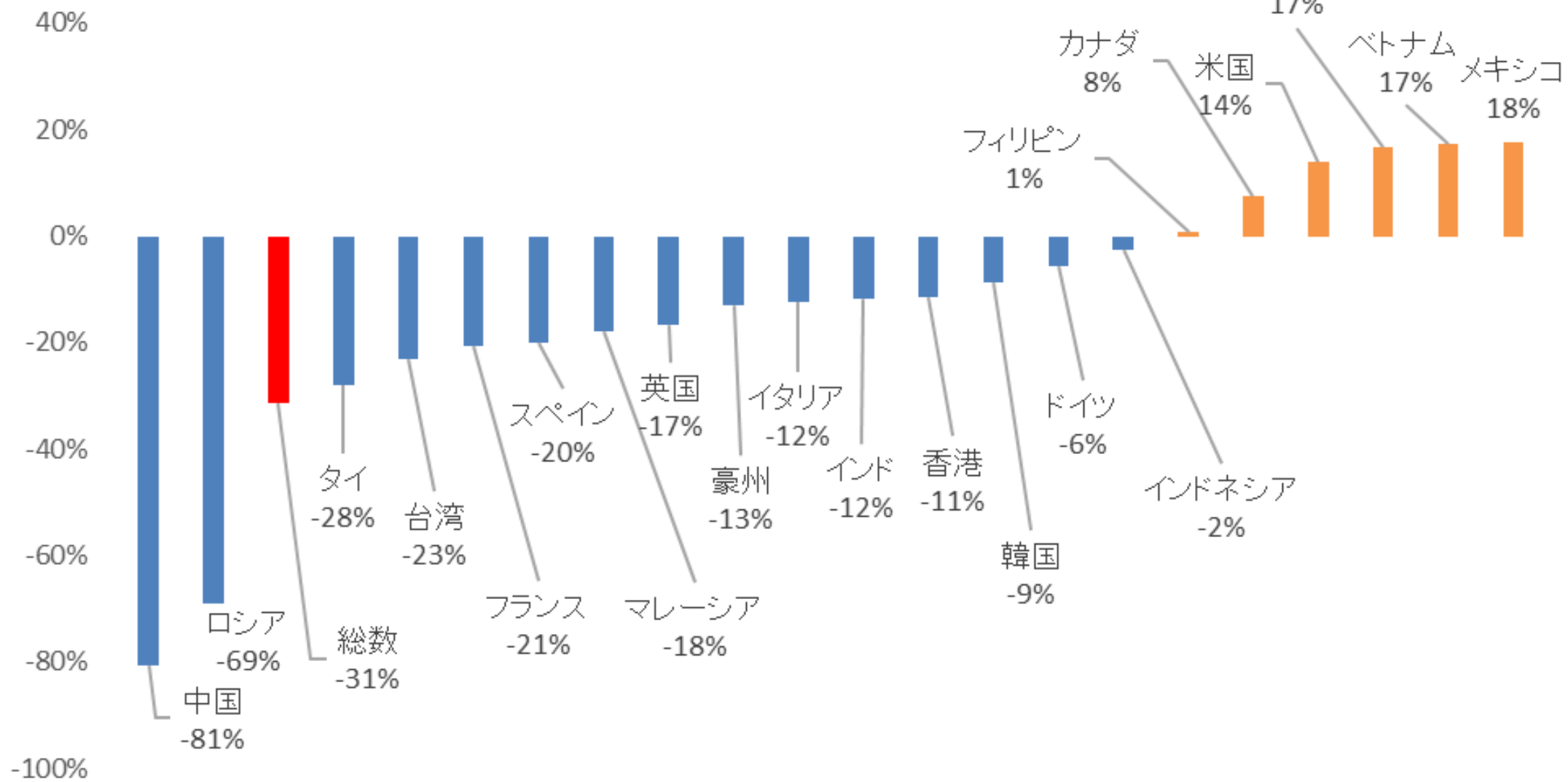


出所: 日本政府観光局

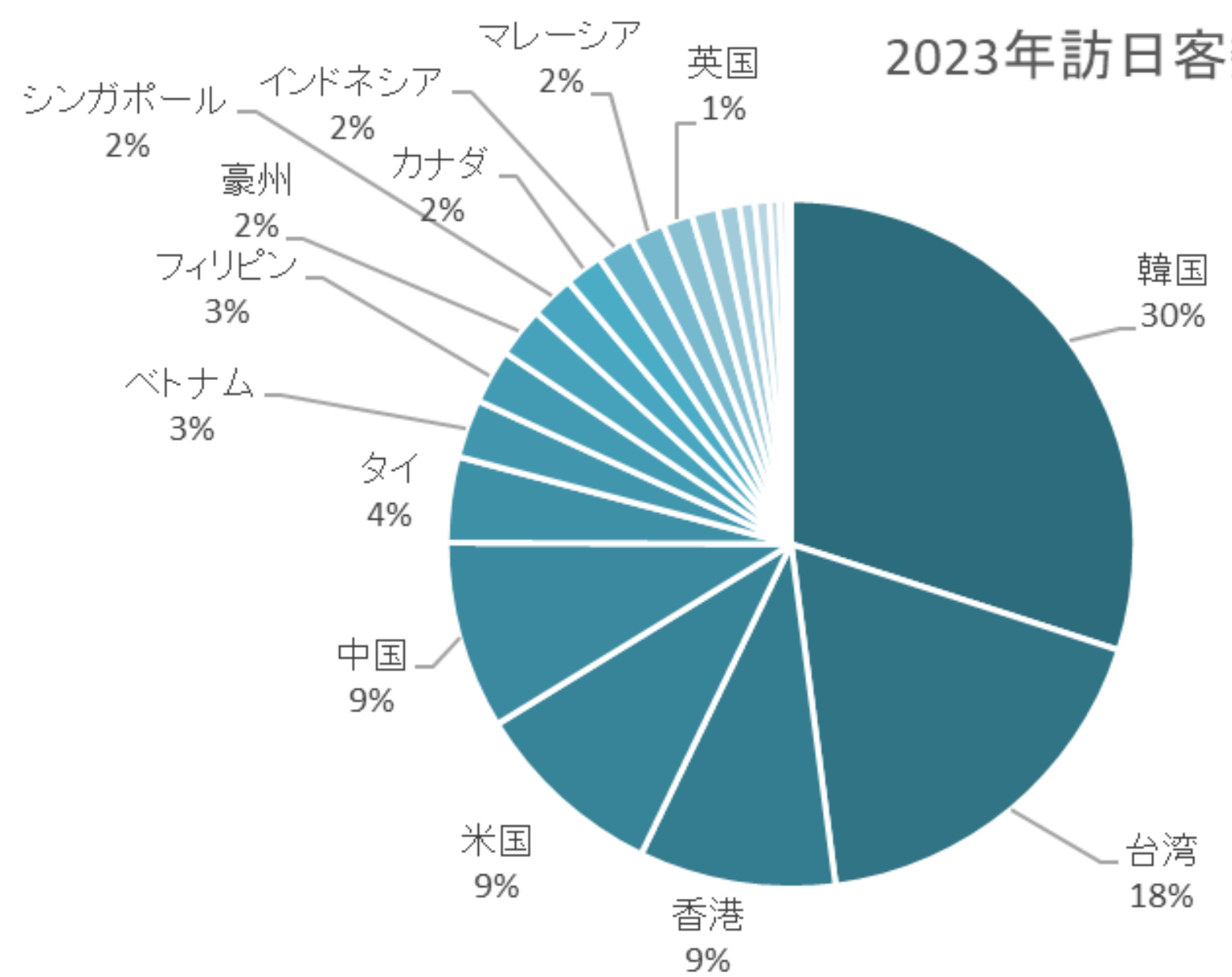
Visitor Arrivals to Japan



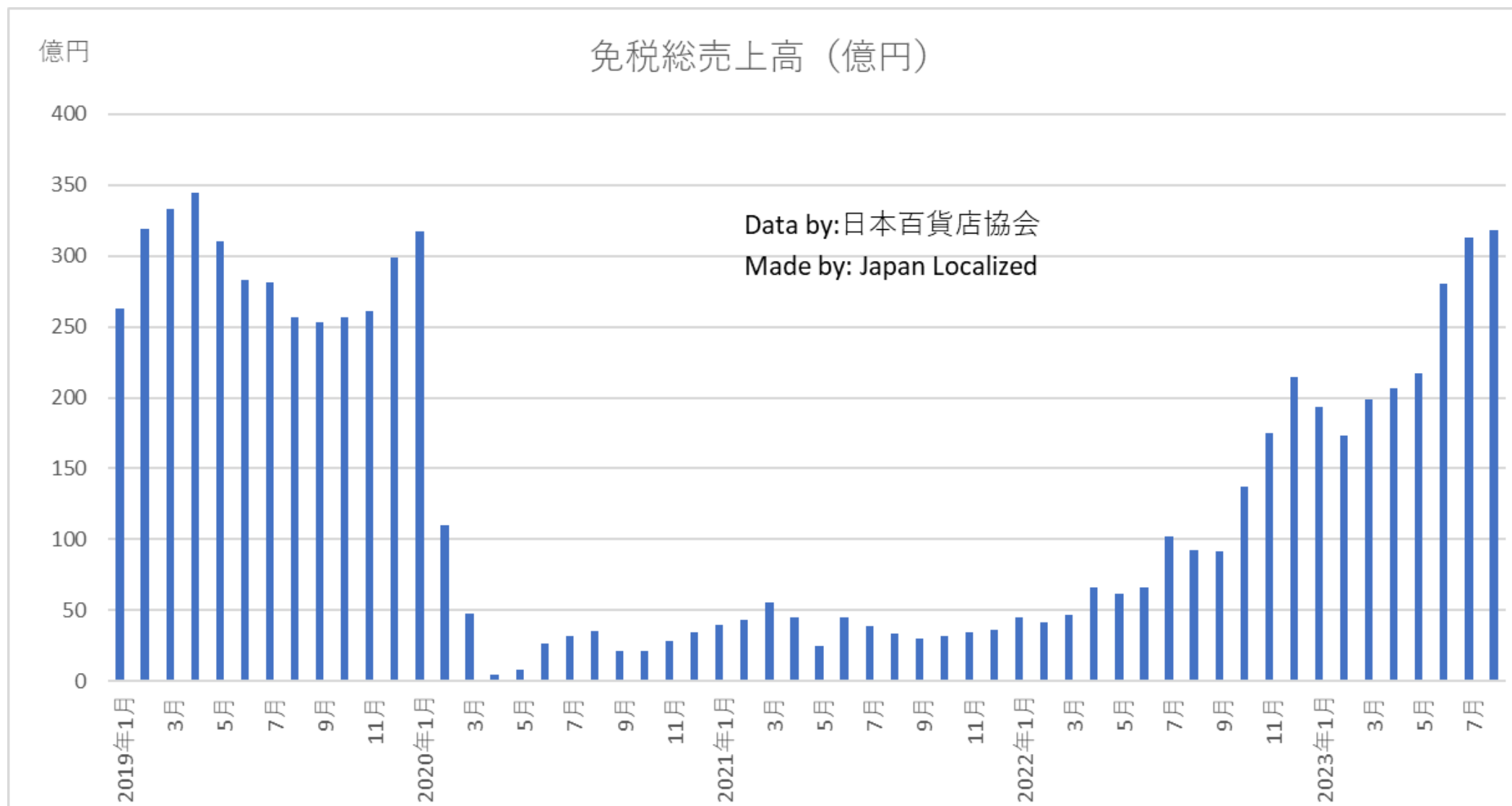
2019年比国別訪日客数累計8月時点



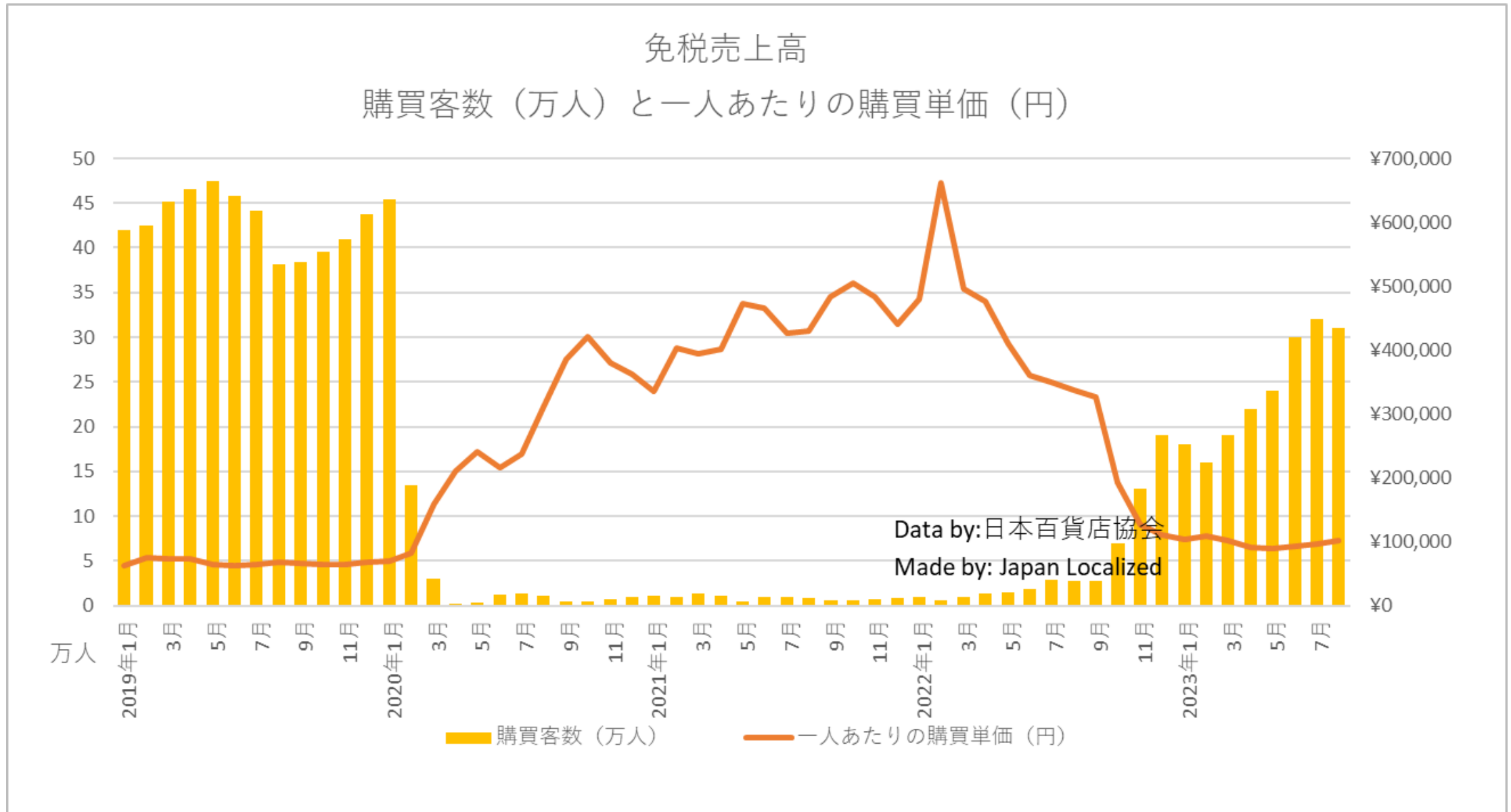
2023年訪日客数累計8月まで



・百貨店の免税売上高はコロナ前水準に戻る



・購買客数はコロナ前水準以下だが、購買単価はコロナ前水準を大きく上回る



今後の材料(目先1年程度)

+ 円安(買物にはプラス)

- 世界の景気動向(特に中国景気)

- 原発処理水

(長期)

+ 大阪万博

+ 日本政府の観光政策

± 円高(日銀の金融政策次第)

- 東アジアの地政学(台湾状勢)

インバウンド銘柄へ投資する際のポイント

- ・インバウンドは+ α と考えておく

→インバウンドに頼らない事業体制と値上げ

- ・西を制する者はインバウンドを制する

→大阪万博、USJ、任天堂資料館、ジブリ(名古屋)、カジノ(大阪)

- ・宿泊、移動、食事、買物が旅行支出

→ホテル、鉄道、レストラン、百貨店+(薬局)

※コト消費は今後伸びるかどうか、、

注目のインバウンド銘柄

円安＋中国人観光客回復

- ・Jフロントリテイリング 3086
- ・マツキヨココカラ 3088
- ・パン・パシフィック・インターナショナル 7532

円高＋中国人観光客回復

- ・F&LC 3563
- ・くら寿司 2695

注目のインバウンド銘柄(長期的)

- ・帝国ホテル 9708
- ・共立メンテナンス 9616
- ・オリエンタルランド 4661
- ・富士急行 9010